

別にあってもいいではないか

林君が、僕の実験用紙から、先週、記録データを
写してくれていたので助かった。

社会の時間に済ませ、次ぎの社会倫理の時間になった。
聖書を手にして、社会倫理担当で平間神父様が
教室に入って来られた。

今日は、人間愛についての話だった。
神は愛であり、真実であるという話になった。

ミッション・スクールでの、今更の質問ではあるが、
「なぜ、キリストは神の子として崇められるのでしょうか。
その根本になる背景を僕はもっと深く理解したいです。」
と、僕は手をあげて発言した。

今まで僕はそれほど深く、宗教や自分の人生や
恋、愛など考えて来なかった。
あの子を思うようになり、自分の人生の幸せについて
やっと、この頃、考え込むようになり、
愛とか恋とか人生、宗教に、目覚めて来た気持ちだ。

僕は期待していなかったが、平間神父様は、長々と、
色々な事に関係付けながら、付け加えて、答えられた。
その中で、僕の関心の答えとなりそうところだけを
抜き出すと次のようになる。

平間神父様の言うのには、
三四千年もキリストが生まれる前から、
「神の子なるキリストが生まれる」と予言されていた。
それが当てはまった。